

組立・施工の前に

この度は、まどまど®stdをご採用いただきましてありがとうございます。
この商品を正しく安全に組立・施工していただくため、この要領書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

安全にお使いいただくために

この組立・施工要領書に示した注意事項は安全に関する重要な内容です。人身事故や財産の損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。内容をよく理解して本文をお読みください。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。「必ず行っていただく事」を示しています。

注意 ●商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

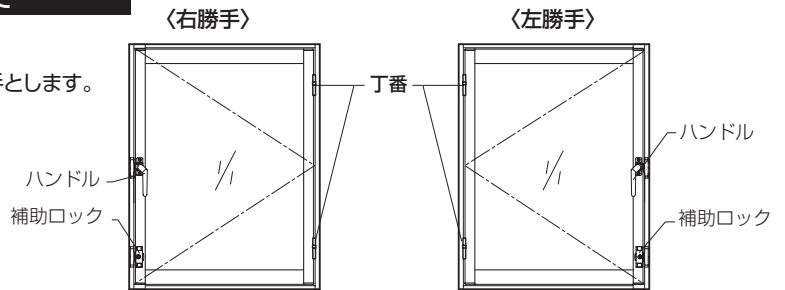
お願い ●組立時、樹脂部材はアルミに比べて破損しやすい為、ハンマーで直接叩くと割れる恐れがあります。必ず、当て木を当ててください。
●木額縁へ枠を取り付ける際、ねじの締めすぎに注意してください。

記載仕様について

- 本説明書では、右勝手の場合を示します。(左勝手は右勝手の逆勝手となります。)
- ガラス仕様は「合わせガラス」を主として記載していますが、ペアガラスも一部記載していますのでご注意ください。

開き勝手について

- 室内側から見て
- 丁番が右にあるものを右勝手とします。
- 左勝手はその逆とします。
- ※勝手とは室内側から見た丁番の位置のことです。



同梱部材・部品一覧表

●下表を参照の上部材・部品の有無を確認してください。

■**枠部材** ※枠部材の裏面には取付方向に関する表示ラベルが貼ってあります。ご確認ください。例：上枠 ↓ 室内側

名称	上枠	下枠	ハンドル側たて枠	丁番側たて枠
姿図				
入数	1本	1本	1本	1本

■**框部材** ※各框にはお使いいただくガラスの専用先付グレチャンがセットされています。

■**部品パック**

名称	上框	下框	ハンドル側框	丁番側框	ネジパック	部品パック
姿図						ビスキャップ×8ヶ ガラス補助ライナー×2ヶ ハンドルスパーサー×1ヶ
入数	1本	1本	1本	1本	1set	1set

障子の組立 (合わせガラスの場合)

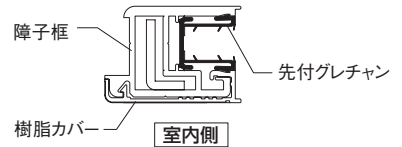
組立の前に

- 梱包箱から部材を取り出し、組上がり状態に並べ、組み合わせ部材の有無を確認してください。
 - 部材は室内側、室外側の区別があります。樹脂カバー側が室内側になります。
 - 框部材の上下にご注意ください。上框には商品表示ラベルが貼ってあります。
 - 枠部材の上下・左右にご注意ください。枠部材裏面に表示ラベルが貼ってあります。
- ガラス寸法は右表の寸法になっています。
- 先付グレチャンは障子框に嵌め込んであります。
- ペアガラス周辺に二次シールが付着している場合は、カッターナイフ等で表面と側面を平らにしてから框の組立を行ってください。

■ガラス寸法 (合わせガラス・ペアガラス共通)

	算出式
ガラスW	W-89
ガラスH	H-116

単位:mm



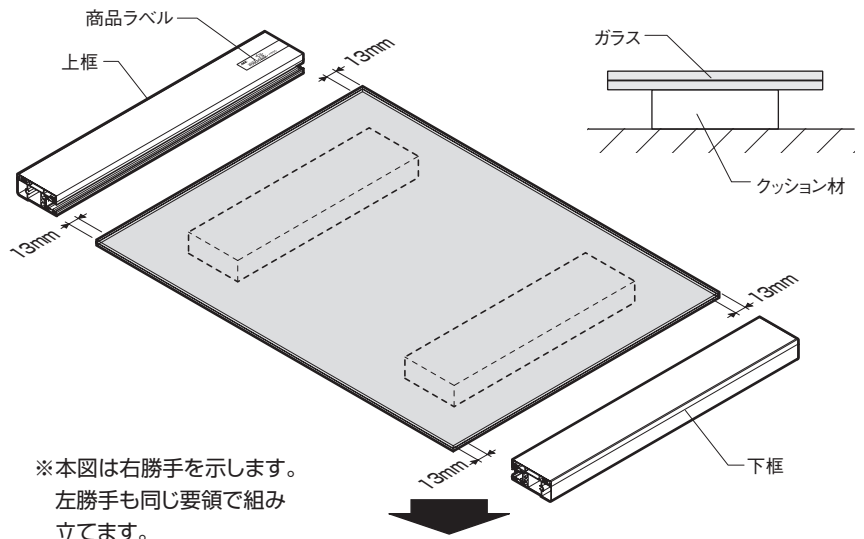
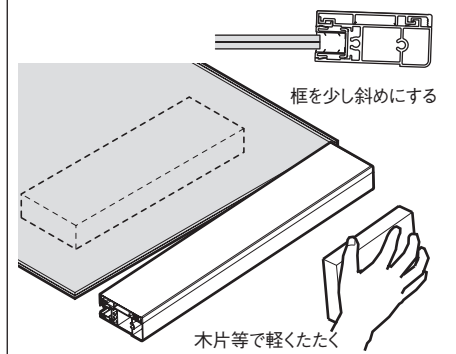
組立手順

1. 上・下框のセット

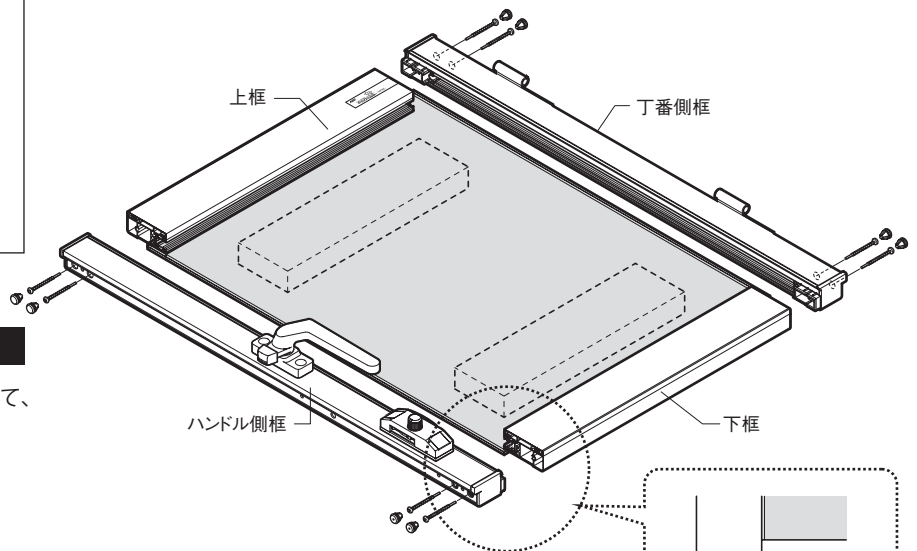
- 予めクッション材を準備し、ガラスをクッション材の上に水平に置きます。
- 上・下框を先にガラスにセットします。
- 上・下框をセットする位置はガラスの両端から約13mmです。定規などを使用してできるだけ正確に嵌め込んでください。

ポイント↓

- ガラスは端部から、框を少し斜めにして嵌め込みます。
- 嵌め込みがきつい場合は木片等で軽くたたいてセットします。



※本図は右勝手を示します。左勝手も同じ要領で組み立てます。



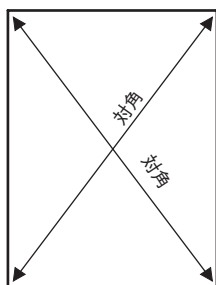
2. たて框のセット

- たて框 (ハンドル側框・丁番側框) をセットして、タッピングねじで組立てます。仮組をしながら、対角を確認してください。
- 最後に、ビスキャップを取り付けます。

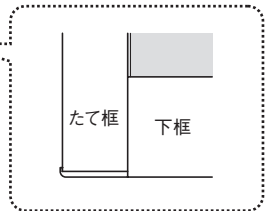
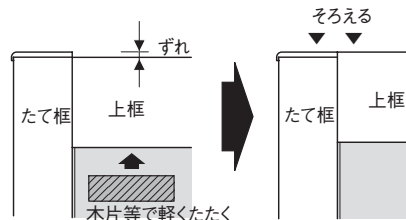
ご確認ください

■障子の対角寸法

障子の組立は、ダレ防止のため、次項(対角の調整)に従って、対角を確認しながら行ってください。



■上框と各たて框がずれているときは、木片等で軽くたたいて位置合わせをしてください。



施工要領

3.対角の調整

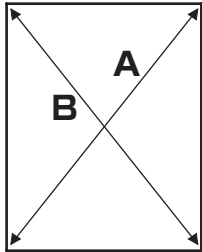
❗お願い 対角は障子のダレ防止のため必ず確認してください。

- 組立は、対角を確認しながら行ってください。
- 木片等で軽くたたきながら、対角を調整し、組立ます。

■対角は、ダレ防止のため、丁番吊元下部からの対角(B)をやや大きく取ります。

※対角B寸法はA寸法と同じか、もしくは2mm程大きい。

$$B \geq A$$



●ガラス補助ライナーについて

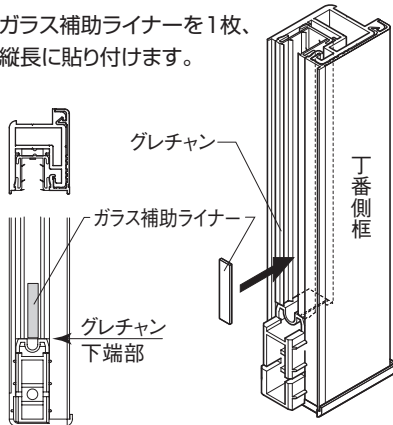
●既存窓木額縁は、水平・垂直にして枠を取り付けることを基本としますが、対角が出ていない場合の調整や、万が一障子がダレそうな場合、ガラス補助ライナーを取り付けてください。

■ガラス補助ライナーの取付

●ガラス補助ライナーは障子の組立前に取り付けます。
取り付け位置は、丁番側枠の下部です。

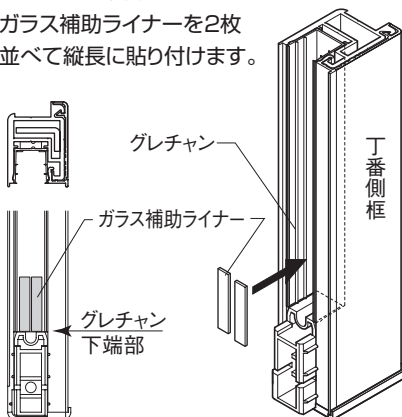
〈合わせガラスの場合〉

●ガラス補助ライナーを1枚、縦長に貼り付けます。



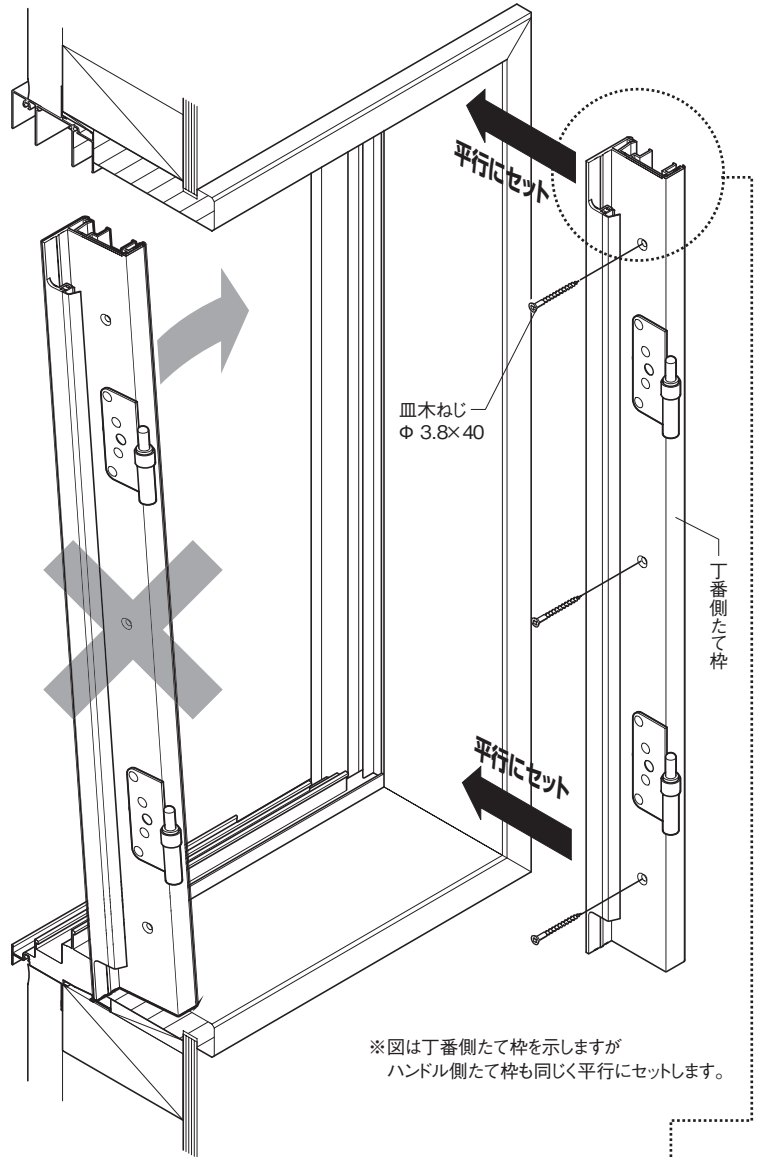
〈ペアガラスの場合〉

●ガラス補助ライナーを2枚並べて縦長に貼り付けます。



1.たて枠の取付

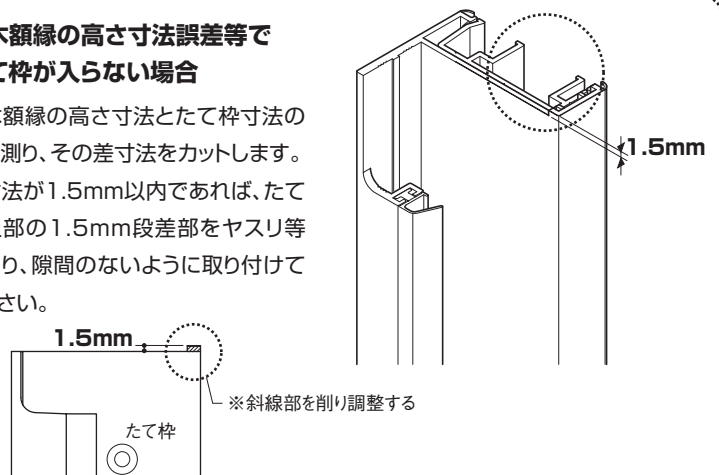
- たて枠は、窓木額縁のたて額縁と平行にしてセットします。
※まどまど®stdのたて枠は、アルミ補強材が入ってますので内側斜めからの取り付けはできませんのでご注意ください。
- 皿木ねじΦ3.8×40で固定します。



※図は丁番側たて枠を示しますが、ハンドル側たて枠も同じく平行にセットします。

■窓木額縁の高さ寸法誤差等でたて枠が入らない場合

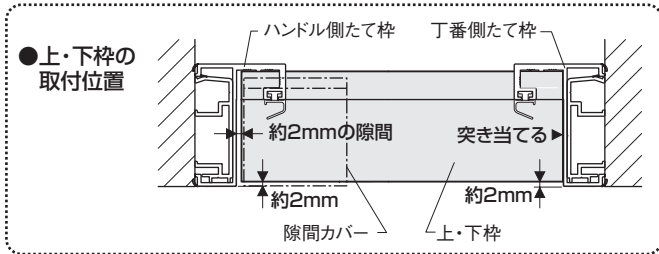
- ・窓木額縁の高さ寸法とたて枠寸法の差を測り、その差寸法をカットします。
- ・差寸法が1.5mm以内であれば、たて枠上部の1.5mm段差部をヤスリ等で削り、隙間のないように取り付けてください。



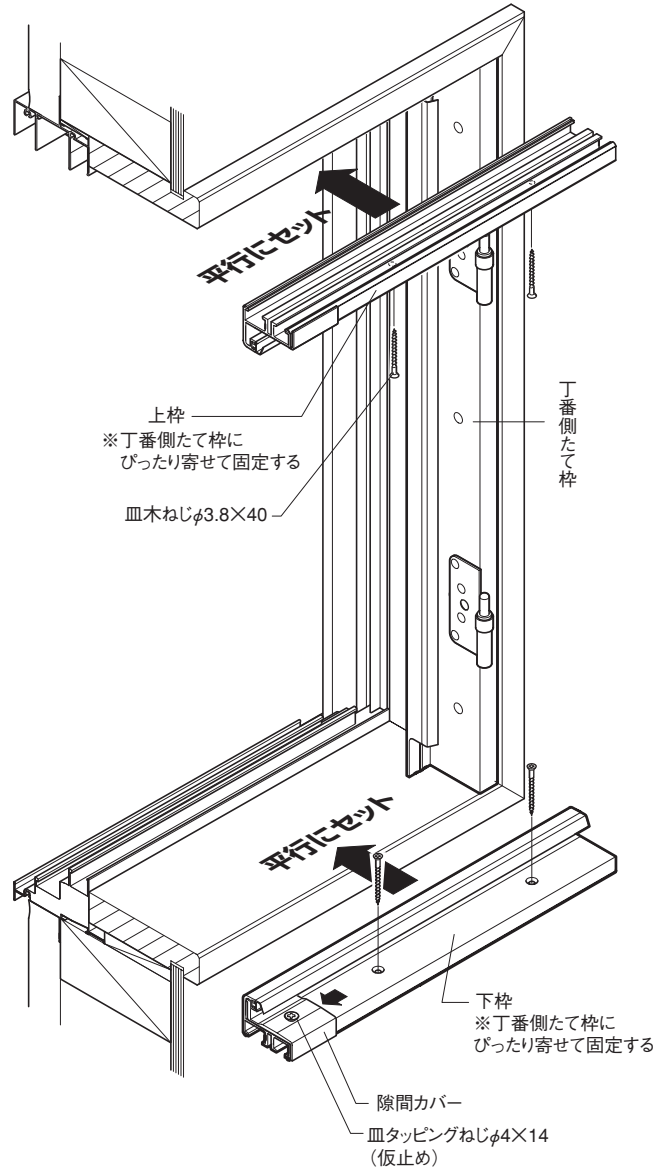
2.上・下枠の取付

■上・下枠は出荷時に切断寸法が約2mm短くなっています。

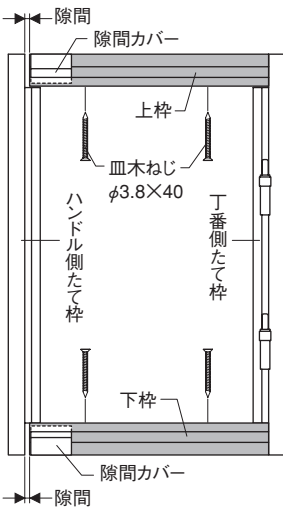
- ①上・下枠は取付位置に平行に挿入し、丁番側たて枠にぴったり寄せてセットします。この時、上・下枠はハンドル側たて枠との間に約2mmの隙間が、たて枠室内側面より約2mmずれた位置にセットされます。皿木ねじ $\phi 3.8 \times 40$ で両端を先に止めてから中央を止めていきます。



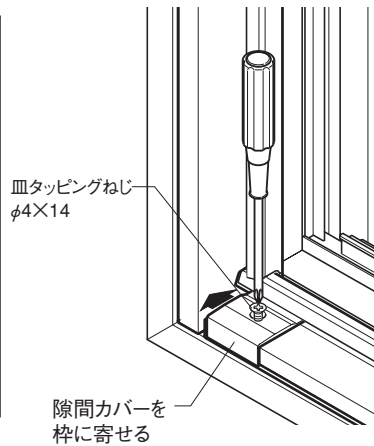
- ②次に、上・下の隙間カバーの仮止めねじを緩めて、ハンドル側たて枠にぴったり寄せ、隙間を隠してねじ止めます。



①上下枠の取付

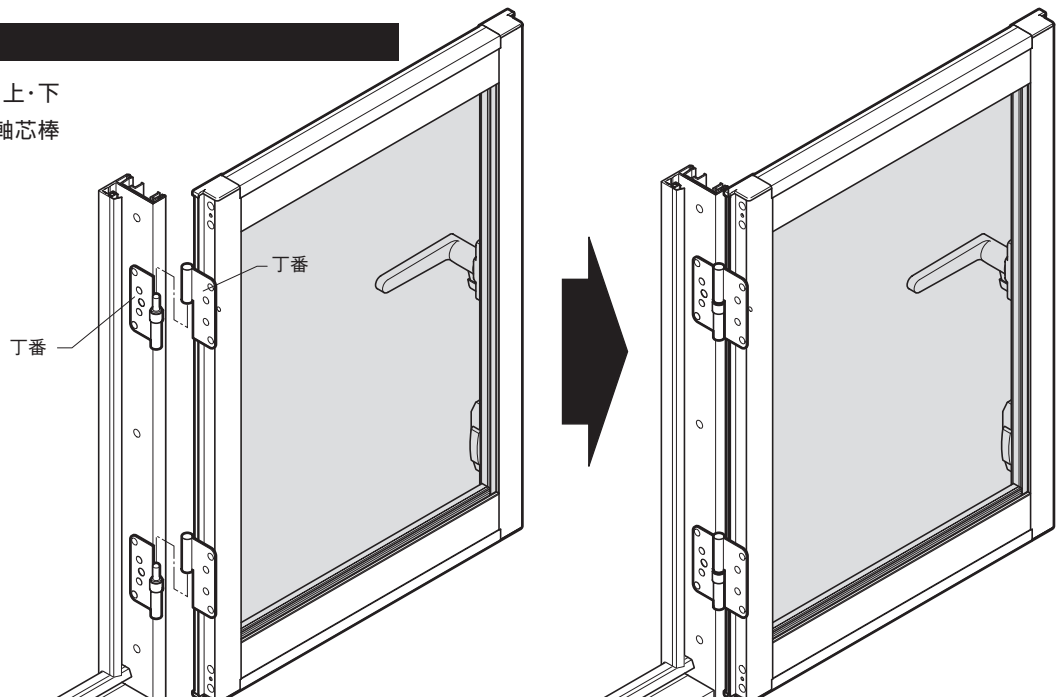


②隙間カバーの取付



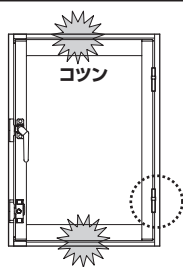
3.障子の吊り込み

- 障子をまっすぐに立てて、上・下の丁番の位置に合わせ、軸芯棒にセットします。

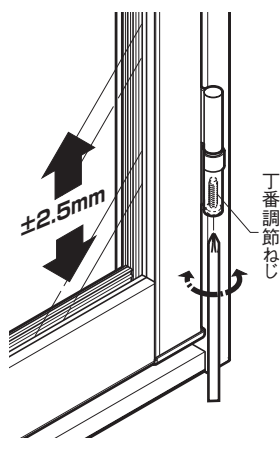


障子の建付調整 ●調整は、建付けと開閉具合を見ながら行ってください。

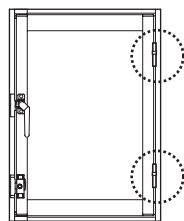
障子の上下の隙間調整



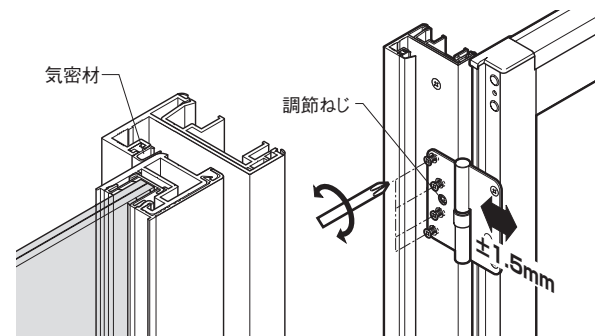
- 障子の下部が下枠に当たる
 - ・下丁番の上下調節ねじを右に回すと最大2.5mm障子が上がります。
- 障子の上部が上枠に当たる
 - ・上・下丁番両方の上下調節ねじを左に回すと最大2.5mm障子が下がります。



障子の出入りの隙間調整

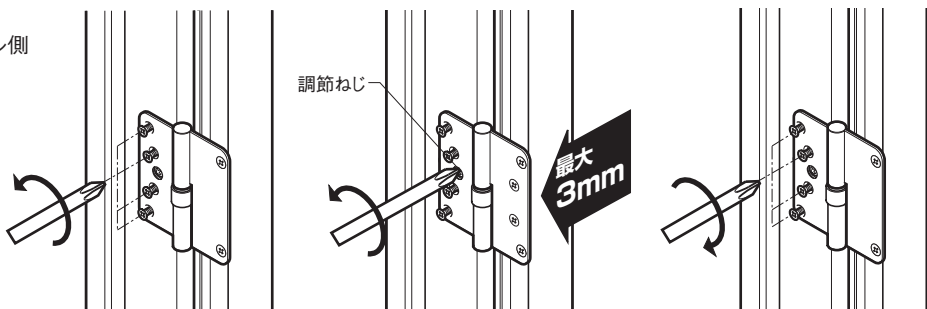
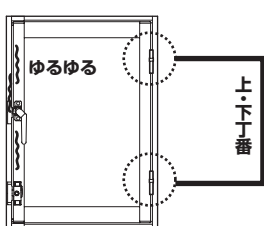


- 気密材のタッチが緩い場合や、きつい場合に調整します
- ・取付ねじ4ヶを緩めて内外±1.5mm移動できます。
- 注意:中央のねじは左右調節ねじです。出入りの調整には使用しません。



障子のハンドル側の隙間調整

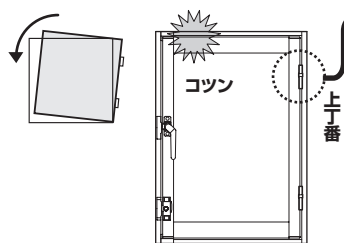
- ハンドル側の隙間が大きい場合
 - ・調節ねじを左に回すと、障子をハンドル側に最大3mm寄せることができます。



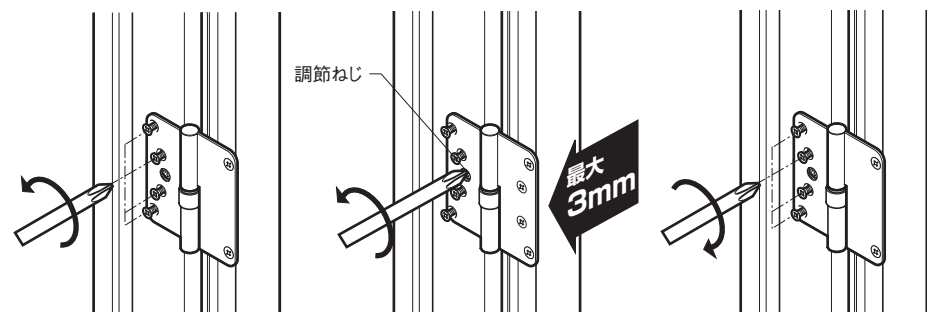
- ①上・下丁番の内側4ヶの取付ねじを緩めておきます。
- ②中央の調節ねじを左に回して障子をハンドル側に移動します。
- ③位置が決まったら緩めた取付ねじを締めます。

障子の傾き調整

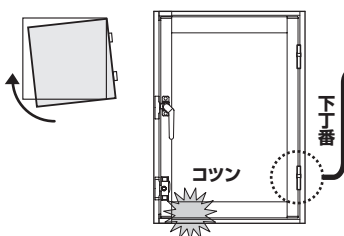
- 障子が上がっている場合
 - ・上丁番の調節ねじを左に回すと、障子のハンドル側を下げるができます。



- ①上丁番の内側4ヶ所の取付ねじを緩めておきます。
- ②中央の調節ねじを左に回して障子をハンドル側に移動します。
- ③位置が決まったら緩めた取付ねじを締めます。



- 障子下がっている場合
 - ・下丁番の調節ねじを左に回すと、障子のハンドル側を上げるができます。



- ①下丁番内側4ヶ所の取付ねじを緩めておきます。
- ②中央の調節ねじを左に回して障子をハンドル側に移動します。
- ③位置が決まったら緩めた取付ねじを締めます。

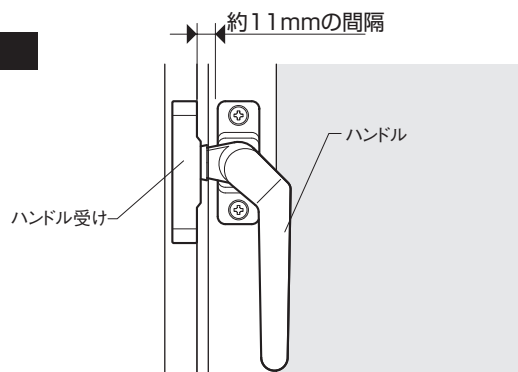
※丁番による調整でも障子の傾き調整ができない場合には、丁番スペーサーで調整できます。7ページ「丁番スペーサーによる障子の傾き調整」を参照ください。

建込み調整 ※本図は、右勝手の場合を示します。(左勝手は右勝手の逆勝手となります。)

ハンドル及びハンドル受けの調整

■ハンドルの取付基準位置

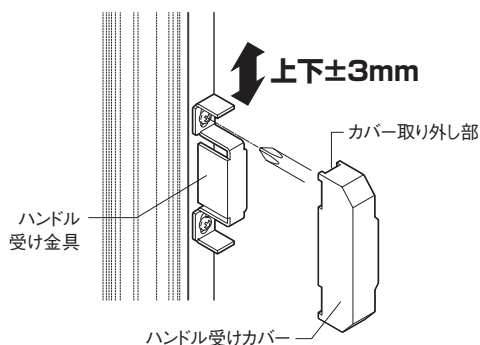
- ・障子の建付調整後、ハンドルの掛かりを確認してください。
- ・ハンドルの台座とハンドル受けの上部の間隔を約11mmに調整してハンドルの掛かり具合を確認します。



■ハンドルの調整

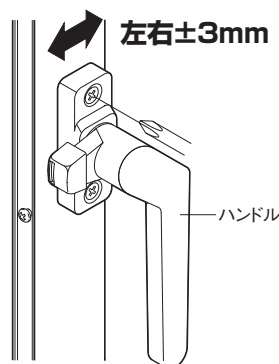
●上下方向の調整 (ハンドル受け)

- ・ハンドル受けカバーをマイナスドライバー等で外します。
- ・取付ねじを緩め、上下調整してください。調整後はしっかりねじを締め付けてください。
- ・ハンドル受けカバーをはめてください。



●左右方向の調整 (ハンドル)

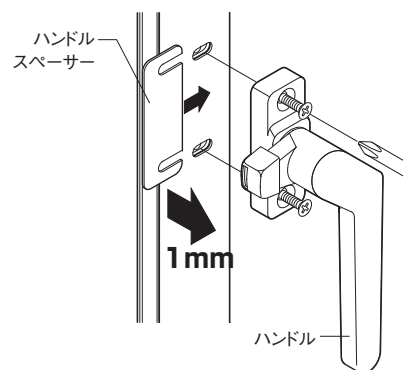
- ・取付ねじを緩め、左右に移動してください。
- ・調整後はしっかりねじを締め付けてください。



●障子の出入り調整

ハンドル側框とたて枠の引き寄せが必要な時に行います。

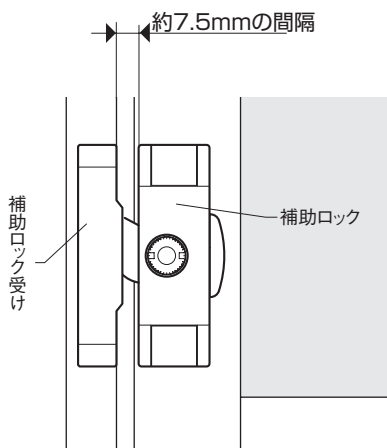
- ・取付ねじを緩め、ハンドルスペーサーを横から差し込みます。
- ・調整後はねじをしっかり締め付けてください。



補助ロック及び補助ロック受けの調整

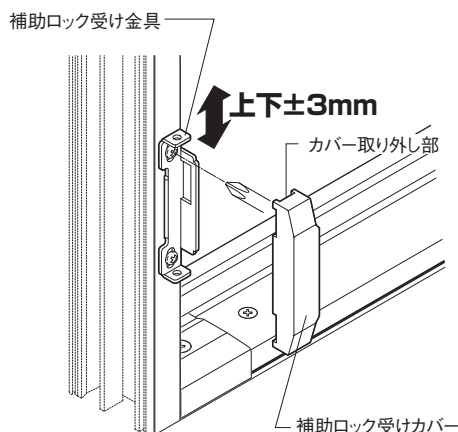
■補助ロックの取付基準位置

- ・障子の建付調整後、補助ロックの掛かりを確認してください。
- ・補助ロックと補助ロック受けの上部の間隔を約7.5mmに調整して、掛かり具合を確認します。



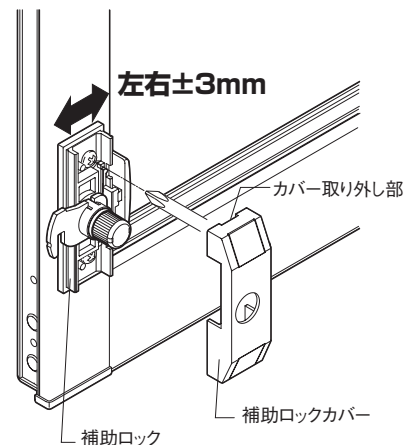
●上下方向の調整 (補助ロック受け)

- ・補助ロック受けカバーをマイナスドライバー等で外します。
- ・取付ねじを緩め、上下に移動してください。
- ・調整後はしっかりねじを締め付けてください。
- ・補助ロック受けカバーをはめてください。



●左右方向の調整 (補助ロック本体)

- ・補助ロックカバーをマイナスドライバー等で外します。
 - ・取付ねじを緩め、左右調整してください。
 - ・調整後はしっかりねじを締め付けてください。
 - ・補助ロックカバーを取り付けてください。
- ※本品は樹脂製品のため締め過ぎに注意してください。

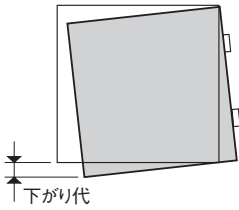


●調整後、鎌錠が補助ロック受けの角穴に十分に掛かることを確認してください。

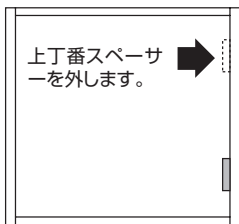
丁番スペーサーによる障子の傾き調整

※丁番による調整でも障子の傾き調整ができない場合には、丁番スペーサーで調整できます。

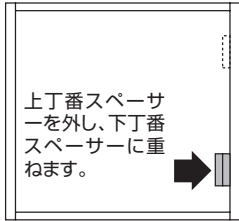
■障子が下がる場合



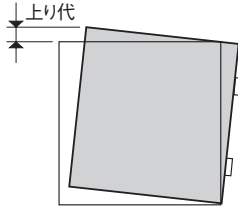
●下がり代が小さい場合



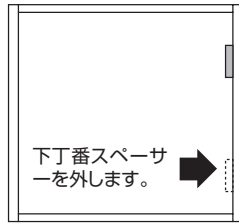
●下がり代が大きい場合



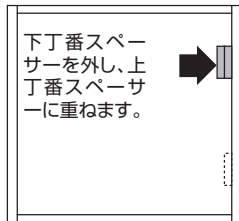
■障子が上がる場合



●上がり代が小さい場合



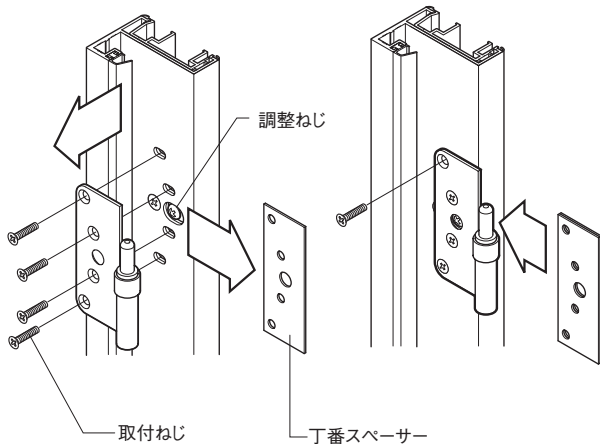
●上がり代が大きい場合



—【丁番スペーサーの取外し・取付け方法】—

障子を一旦外し、枠の丁番スペーサーを取り外します。

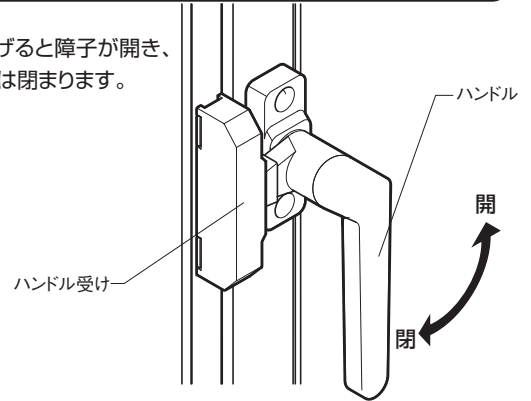
- ①丁番取付ねじ4ヶを緩め、丁番を外し、丁番スペーサーを取り出します。
※丁番の中央にある調整ねじは外さないでください。
- ②丁番をねじで再度取り付けます。
・傾き代が大きい場合は、丁番スペーサーを2枚に重ねます。



操作方法 ※本図は、右勝手の場合を示します。(左勝手は右勝手の逆勝手となります。)

ハンドルの操作方法

- ・ハンドルを上げると障子が開き、下げると障子は閉まります。



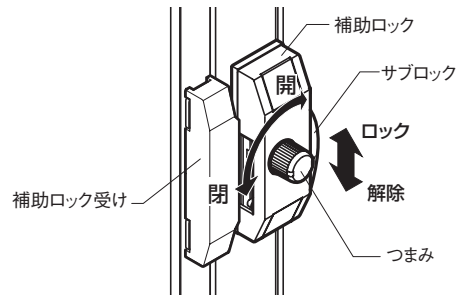
補助ロックの操作方法

施錠手順

- ①サブロックを下げるとロックが解除されます。
- ②つまみを左に回し施錠します。
- ③サブロックを上げてつまみ(鎌錠)が回らないよう、ロックします。

開錠手順

- ①サブロックを下げて、ロックを解除します。
- ②つまみを右に回し開錠します。
- ③サブロックを上げて、つまみ(鎌錠)が回らないよう、ロックします。



注意 ●障子を開けた状態で施錠しないでください。施錠のまま障子を閉めると部品の破損原因となる場合があります。

あおり止めの操作方法

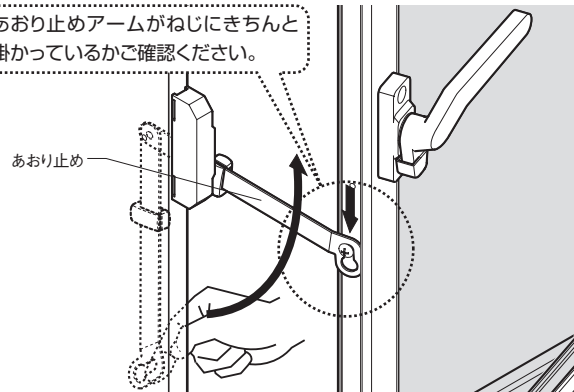
使用手順

- ・ハンドルを上げて障子を開きます。
- ・たて枠に収納されているあおり止めを引き出し、ハンドル側枠のねじに掛けて押し下げます。

収納手順

- ・あおり止めを持ち上げるようにして外し、たて枠に押し込んで収納します。

あおり止めアームがねじにきちんと掛かっているか確認ください。

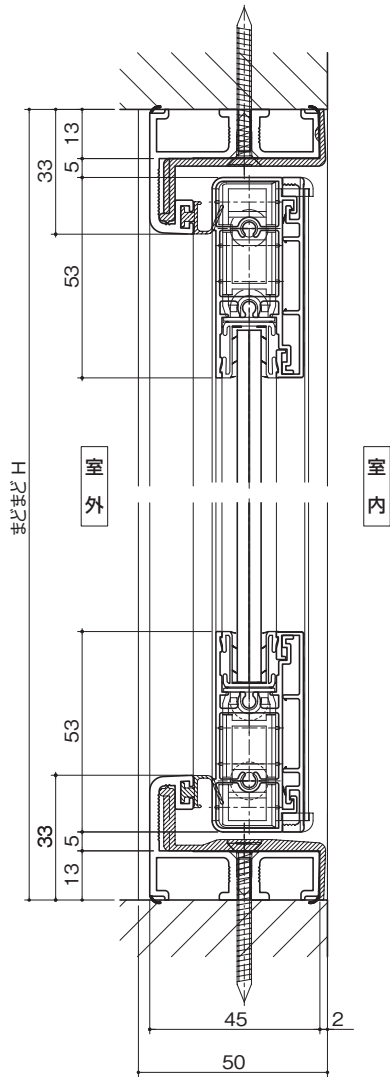


注意 ●あおり止めは少換気用です。強風時には使用しないでください。障子があおられ、破損したり脱落したりして事故やケガにつながる危険があります。

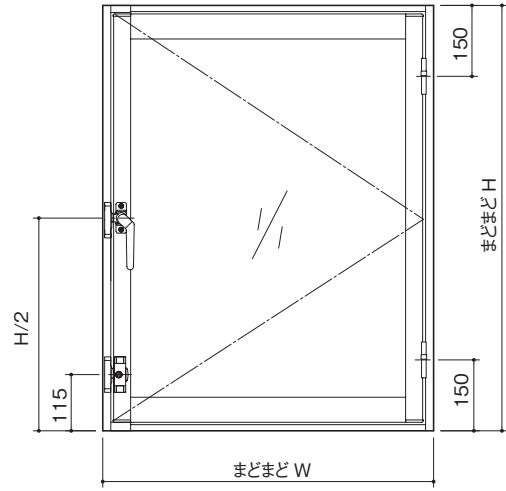
基本図

Scale 1/2

縦断面図



内観姿図 (右勝手を示します。)



横断面図

